



アガパンサス咲いて夜明けの海の色	世を拗ねてゐるかに細るいぼむしり	海原の銀を引き割き夕立来る	水打つて濁世を閉ざす蹶り口	噴水の水持ちあげて力尽く	秋のこゑ言葉にすれば逃げてゆき	白南風やフランス窓の隠れ宿	風孕むヨット青春回帰かな	一濤をゑりて涼しき硯かな	サングラスしても性善説変へず	蛇行とふ川の懐夏つばめ	一日花の定めに芙蓉挙り咲く	どんと夏どんと行徳可動堰	蜘蛛の囀の校正もなく出来上る	ソーシャルディスタンス蚕豆の二つ	日光はストップモーション海開	補陀落や夏満月に舳切る	匂ひにも重さのありて栗の花	眩しきは白き鷗よ巴里祭	若き日と違ふ幸せ秋日和	向日葵の無聊わたしの無聊かな	オカリナは縄文の風草は穂に	びいどろの溶けゆくやうに瀬戸夕焼	注連かかる滝の終りなき白炎	太刀魚の竹光の照り延べらるる	滝壺に滝の押し出す風のあり	水が水押す噴水の力かな	昼顔は青天井を恋ふる花	ひとつ木が鳴けばどの木も蟬の木に	鶴髪の晩夏の景として籠る
浜田はるみ	小倉 征子	里村 梨邨	宮岡 弘	中村 重幸	兵藤 恵	埴 誠一郎	藤代 康明	栗坪 和子	川高郷之助	諸岡 和子	荒井千瑳子	町山 公孝	齊藤 實	内山 花葉	平松うさぎ	森村 江風	林 昭太郎	大沢美智子	栗原 公子	楠原 幹子	菊地 光子	七種 年男	宮内とし子	成宮紀代子	能美昌二郎	田所 節子	大畑 善昭	辻 美奈子	千田 百里

沖 の 水 脈

